

【議事等(1)】

地域公共交通に関する市民アンケート調査の実施について

1 アンケート調査実施の趣旨

- 昨今の「2024年問題」に起因する運転士不足や路線バスの減便、市内循環バスのダイヤ改正・運賃改定、デマンド型交通の導入など、本市の公共交通を取り巻く環境は転換期を迎えています。
こうした社会情勢の変化を踏まえ、本市における持続可能な地域公共交通の実現に向け、現在の市民ニーズを的確に反映するとともに、地域公共交通計画に設定した評価指標の現状値を把握するため、アンケート調査を実施します。

2 委員の皆様へのお願い

- 本資料をご確認いただき、別添の資料3-2「あきる野市の地域公共交通に関する市民アンケート(案)」に対して、ご意見・ご助言を賜りますようお願い申し上げます。
- 以下3つの評価指標は、別添の調査票案のうち、「あきる野市地域公共交通計画」策定時において指標の現状値がなく、策定後にアンケート等により把握するとしていた指標に関する設問です。
設問の表現や選択肢が、評価指標を正確に捉えているか、また、市民にとって分かりやすいか、という視点でご確認ください。

	評価指標	該当設問	確認のポイント
1	指標No.8 地域公共交通のソフト面(ダイヤ設定、運賃体系、情報提供の方法など)の分かりやすさに関する満足度	問27 (P.15)	ダイヤ設定・運賃の仕組み・情報提供などについて、内容そのものではなく、「 <u>理解のしやすさ</u> 」や「 <u>案内の分かりやすさ</u> 」についての満足度を確認する。
2	指標No.13 地域公共交通の安全性、耐災害性に関する満足度	問28 (P.16)	「 <u>公共交通の利用時に危険がないか</u> 」や「 <u>災害が起きた際にも安全に利用できる環境になっているか</u> 」についての満足度を確認する。
3	指標No.14 地域公共交通のバリアフリー化に関する満足度	問29 (P.17)	公共交通のバリアフリー環境(高齢者・子ども連れ・車いす利用者など、誰もが移動しやすく、使いやすい環境になっているか)についての満足度を確認する。

3 前回調査からの主な変更点・改善点

- 令和4年1月に実施した「あきる野市の公共交通に関する市民アンケート」(以下、「前回調査」という。)の結果や回答の利便性等を考慮し、以下の見直しにより改善を図ります。
※ 前回調査 郵送による配布・回収 配布数:3,000件 回収数:1,192件 回収率:39.7%

	見直し項目	前回調査	今回調査(変更点)	期待される効果
1	回答方法	郵送回答のみ	郵送回答・Web回答から選択 (Web回答は、回答を途中で一時保存できる仕様か、タイムアウトのない設定とする)	若年層・現役世代など、普段からスマートフォン等のモバイル端末を利用する方の回収率の向上
2	設問数	全55問	全42問	回答時の心理的・時間的な負担を軽減し、回答の中断を防止

4 今後のスケジュール(予定)

- 令和8年7月3日(金) 委員の皆さまからのご意見等の提出期限
- 令和8年9月上旬頃 アンケート調査票の発送・調査開始
- 令和9年1月～2月頃 地域公共交通協議会において調査結果を報告予定